

2017年度 世界展開力強化事業

中南米との大学間交流プログラム（短期留学） 帰国報告書

生物産業学部 生物生産学科 一年 42217033 木村 涼平

1. 今回の短期留学をするにあたっての当初の目的は、私が学んでいるオホーツクキャンパスでは見ることや学ぶことができない南米原産の植物や作物を実際に現地に行って、直接見ることで植物や作物に関しての見聞を広げていき、さらに、日本以外の様々な文化に触れることで、植物や作物以外の分野の視野も広げていこうと思ったからです、さらに、ペルーでしか育てていないカムカムについても学んで、その学んだことをオホーツクキャンパスに持ち帰っていきたいと思います。
2. 現地での活動はまず、リマではラ・ラモリーナ国立農業大学で、教授たちによるペルーの農業についてのプレゼンや大学内で研究している遺伝子学を紹介していただきました、他にはラ・モリーナの大学の学生にリマで行われていた祭りのようなものや、海岸にも連れて行ってもらいました。



祭りで行われていた路上パフォーマンスの様子



夜の様子



海岸の様子(この時はだいぶ曇っていました)

次はラ・モリーナ大学の施設内の紹介を少しだけですが、やっといこうと思います。



これは大学内のビニールハウスで、様々な品種のトマトを育てています。中はビニールハウスなだけあって少し蒸し暑かったです、さらに、ビニールハウスの中では害虫駆除の役割として大きな蜘蛛を数匹ビニールハウス内で飼っていました。



これは主に南米原産の昆虫を集めた標本で昆虫のことを研究している学科の研究室に展示してありました。



大学内で飼っているアルパカやラマ

その他には向こうの学生たちと日本とペルーのそれぞれの食事や踊りで交流しました(東京農大の踊りは大根踊りでした)

ラ・モリーナ大学の引退された元教授の方に火力や電力のもとになるエネルギーを自分たちの農園で作っていて、その仕組みについての説明を聞きました



次はカハマルカでの活動内容です。

カハマルカのホームステイ先が標高2600メートルぐらいだったので、朝起きた時に高山病の影響で呼吸がだいぶしにくかったのが、夜寝る前に現地で買った高山病予防の薬を飲むことで翌日の朝には少し楽になっていました、

カハマルカは先ほど書いたように高山地帯なので、アルパカや羊といった高山地帯の家畜動物が山のほうに行けばたくさんいました日本では高山地帯の家畜動物になかなか触れ合える機会や見る機会がなかったのでとても刺激的で面白かったです、なので、ホームステイ先の方が連れて行ってくださった動物園がとても面白かったです



その他にも市場にも連れて行ってくださったのですが、人がとても多くて自分の財布やおパスポートが盗られないか少し神経質になっていました



市場では日本では見ることのできなさそうなココの葉やその他珍しい果物や食べ物が売っていましたが、けれども、日本でも食べられているウズラの卵があったので少し驚きました。そして、カハマルカで最も印象深かった食べ物といえばクイだと思います、日本ではモルモットと言って主に食用ではなく、ペットとして知られています、ホームステイ先ではクイの唐揚げのようなものをいただいたのですが私的にはこれがとてもおいしいと思いました、最初のほうはクイのようなかわいい動物を食べるのに抵抗があったのですが、今となつては抵抗がなくなりました



カハマルカの市場ではアルパカ製品のマフラーやブランケットがだいぶ安かったのもう少し買えばよかったと少し後悔しています

次にプカルパでの活動内容はまず、鈴木さんに紹介してもらった熱帯原産の作物について書きたいと思います、最初に私個人がとても興味を持ったアヤワスカというものを紹介したいと思います、アヤワスカは一言で言ったら中毒性のない麻薬です、アヤワスカを服用すると忘れていた過去の記憶がよみがえってくるといわれています、そしてプカルパのいたるところに機械的な文字がたくさんあったのですが、アヤワスカを服用すればその文字が何て書いてあるのかがわかるそうです。

鈴木さんの話を聞いて思ったことは熱帯原産の果物や作物はいろいろな病気に効くことが分かりました、例えばマラリアに効くキニーネという作物や痛風、リウマチ、ガンに効くキャツクロウというとげがカーブして猫の爪みたに見える植物や他には枝豆にはアルツハイマーやパーキンソン病に効くエルドーパが多量に含まれていますアサイーの根っこには腎臓に効く作用があります。

そして、私がペルーで勉強したかったカムカムについてはペルーでは現在カムカムの接ぎ木が約六万本あり、なぜカムカムはビタミンCが多いのかというと南米では雨季と乾季の差が激しく、そのためカムカムにストレスがかかるのでビタミンCが多いと考えられています、その他にもアルカリ土壌ではカムカムが育ちにくいので南米は雨が多いので酸性土壌となりそのためカムカムが育ちやすくなるのです、他にカムカムの特徴といえば一つの実でオスとメスの両方の役割を果たしています。

プカルパでは印象に残っていることは移動の時モトバイクのことです東南アジアの特集をしているテレビ番組でよく見かけていましたが、実際に乗ってみると思いのほかお尻に振動がきていてあまり乗るのが好きではありませんでした。

他にも市場行くといろいろな熱帯作物がありました、鈴木さんは「今の時期は乾季だからあまり種類がない」と言っておられたけれども私が今までみたどの市場よりも種類も量も多かったです、なので、今度は乾季ではなく雨季の季節のペルーに訪問をして、どのくらい違うのかということ調べていきたいと思いましたが、試食をたくさんさせてもらい日本では味わうことができない味を感じられてよかったです。

鈴木さんが新しく始めた事業としてピラルクについては、正直現地へ行くまでピラルクのことにはわからなくて、興味もあまりなかったのですが現地へ行って実際に計量するために池から出したりする作業を見てみるとおもしろそうだと思います、けれど、実際に見たのは生後9か月ぐらいの数キロ程度のピラルクだったので、今になって一番大きい200kgのピラルクを実際に見てみたいと思うようになりました。

プカルパでの食事は正直に言って私は苦手でした、量が多いのと普段から食べ慣れていない食べ物ばかりだったので少ししんどかったです、けれど、バナナはおいしいと思って食べられました、他にはアマゾン川を渡ってジャングルに入った時に野生の猿ナマケモノを発見したりといった日本では絶対に経験できないようなことを経験しました、けれども、私は黄熱病の予防接種を打っていなかったのがジャングルに入った時に蚊に噛まれないように虫よけスプレーを常に体中にかけていました。





3. 目的達成の自己評価

今回の短期留学では自己評価は5段階で評価すると3になりますなぜかという初めての海外だったけれどもアメリカに入国するときの手続きやペルーに入国するときの手続きなどもあまり止まらずにスムーズにいったのでよかったと思います、他にも、自身の目的であった熱帯植物や熱帯作物に関して見聞を広めることや植物や作物以外のペルーの文化や食文化を実際に触れてみて文化や食文化に関する視野を広げていこうということに関してはペルーでしか食べられないものを食べることができたり、文化にも触れることができたのでおおむね目的達成かなと思いました、他にも乗り物にも酔わなかったり、熱を出したりというようなことであまり体調を崩さなかったりといった自己管理がしっかりできていたと思います、しかし、カハマルカでアルパカ製品をあまり買わなかったり、200kgのピラルクを実際に見てみたいとか、スペイン語で数字も満足に翻訳ができず、買い物時もマイさんにつきっきりで翻訳をしてもらえなかったら満足に買い物もできないような状態だったので、スペイン語をもっと勉強してあげればよかったなどの後悔がたくさんあったので、3だと思います。

4. 今後の取り組みについて

今回の留学を通して学んだすべてのことをオホーツクキャンパスに持ち帰ってみて、三年生になった時に植物系の研究室に入り、そこで熱帯作物が持ついろいろな病気に効く作用をなんとか寒冷地法の作物や植物に応用できないかということを中心に研究していきたいと思います、他にも、ピラルクの養殖についても北海

道のような寒いところでも可能なのかということもやっていきたいと思っています、カムカムについてなのですが、北海道はおろか日本全国でも育てることが難しいと思うので、あきらめるしかないのかと思っています、そして、オホーツクキャンパスでは卒業された先輩方を含めても、ペルーはおろか南米に留学をしたことがない人が大勢だと思うので、私がオホーツクキャンパスで友人などにペルーで経験したことを話していき広めていければオホーツクキャンパス全体のレベルが上がっていくのではないかと思います、広めていこうと思っています。

5. プログラムに対する要望

今回実際に留学をしてみて、分かったことはまず予防接種のことです網走では黄熱病やA型肝炎や狂犬病の予防接種を打ってくれる病院がなかなかないので電車で一時間行った隣町でA型肝炎と狂犬病の予防接種を打ってもらいました、黄熱病に関しては車で4時間ぐらいの札幌にある大きな病院で打ってもらえるそうだったので、私は時間とお金があまりなくて打っていませんでした、なのでカルパのジャングルに入るときには常に虫よけスプレーを体中にかけていて蚊が来ないようにしていました、ですから、今度南米やその他の病気が流行っている地域に留学をするオホーツクキャンパスの学生に早めに病院を見つけて打つように注意を呼び掛けてほしいです、他にはカハマルカでの買い物の時間をもっと伸ばしてほしいです、なぜなら、もっと時間があればアルパカ製品をもっと買えると思っているからです、他にはオリエンテーションの時なのですが、火曜日の3、4限目が実験や実習が入っていたので、オリエンテーションが長引いたらその分実験や実習に遅れてしまうので、できるだけ早めに終わってほしいです、他には実際にオホーツクを出てみてわかったのですが、オホーツクキャンパスにはロシアとかの寒い地域の留学の誘いは結構来るのですが、南米やアフリカなどの暖かい地域の留学の誘いは全然来ないので、オホーツクキャンパスにもいろいろな地域や国の留学の誘いがもってきたらいいと思いました。